

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 川崎町社会福祉協議会

令和3年度 社会福祉法人 川崎町社会福祉協議会事業報告

1、法人運営

(1)理事会の開催

計4回の理事会を開催し、下記のとおり審議等を行い法人運営の適正化に努めた。

回数	開催日時・場所	総数/出席者	審議事項
1	令和3年 5月31日(月) 13:30～15:00 場所:川崎町総合福祉センター	理事 10名/10名 監事 2名/2名	(議案) 第1号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について 第2号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会評議員候補の選出について 第3号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の令和2年度事業報告及び決算の承認について 第4号 令和3年度第1回評議員会の開議決議について (協議事項) 1)次期役員候補者選出について 2)川崎町ボランティアセンターの設置について (報告事項) 1)新型コロナ感染予防の取組について
2	令和3年 6月16日(水) 13:30～15:15 場所:川崎町総合福祉センター	理事 11名/11名 監事 2名/2名	(議案) 第5号 議席の決定及び議長選出方法の取扱いについて 第6号 会長及び副会長の選定について 第7号 常務理事の選定について 第8号 総務委員会委員並びに福祉委員会委員の選任について 第9号 福岡県共同募金会川崎町支会会則の制定について 第10号 第2回評議員会の開議決議について (協議事項) 1)令和3年度共同募金事業の配分団体及び配分金について (報告事項) 1)新型コロナ感染予防の取組について 2)福岡県共同募金会川崎町支会の開催について
3	令和3年 11月30日(火) 13:30～14:50 場所:川崎町総	理事 11名/11名 監事 2名/2名	(事業報告) 第1号 令和3年度上半期執行状況の監査報告について 第2号

	合福祉センター		<p>非常勤職員就業規則の一部改正について (議案) 第11号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会職員給与 規程及び非常勤職員就業規則の一部改正につ いて 第12号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会事務局長 就業規則の制定について 第13号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会登録ヘル パー就業規則の一部改正について 第14号 令和3年度第3回評議員会の開議決議について (報告事項) 1) 居宅介護事業の経営計画に基づくケアマネ1名 の増員について 2) 「ボランティアセンター」の取組状況について 3) 社協理事・評議員及び職員の研修について 4) 第2回共同募金会川崎町支会の開催について</p>
4	<p>令和4年 3月16日(水) 13:30~15:11 場所:川崎町総 合福祉センター</p>	<p>理事 11名/11名 監事 2名/2名</p>	<p>(事業報告) 第3号 社会福祉法人指導監査の結果について 第4号 会長職務執行状況報告 (議案) 第15号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の役員等 賠償責任保険契約の締結について 第16号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会費用弁償 等規程の一部改正について 第17号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会職員給与 規程及び非常勤職員就業規則の一部改正につ いて 第18号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会非常勤職 員就業規則の一部改正及び事務局長就業規則 の廃止について 第19号 令和3年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議 会の補正予算について 第20号 令和4年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議 会の事業計画について 第21号 令和4年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議 会の事業予算について</p>

			第 22 号 令和 3 年度第 4 回評議委員会の開議決議について (報告事項) 1) 第 3 回共同募金会川崎町支会の開催について
--	--	--	---

(2) 監査の実施

回数	開催日時・場所	監事名	審議事項
1	令和 3 年 5 月 18 日(火) 13:30~15:30 場所:川崎町総合福祉センター	主任監事 山口 明 監事 萩尾 節子	平成 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の業務執行の状況及び財産の状況についての監査
2	令和 3 年 11 月 12 日(金) 13:30~15:00 場所:川崎町総合福祉センター	主任監事 山口 明 監事 萩尾 節子	令和 3 年 4 月 1 日から令和 3 年 9 月 30 日までの業務運営及び会計管理に関する事項についての監査

(3) 評議員会の開催

計 4 回の評議員会を開催し、多くの意見をいただきました。

回数	開催日時・場所	総数/出席者	審議事項
1	令和 3 年 6 月 15 日(火) 13:30~15:05 場所:川崎町総合福祉センター	評議員 13 名/13 名 監事 2 名/2 名	(事業報告) 第 1 号 居宅介護支援事業の今後の経営計画について (議案) 第 1 号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の令和 2 年度事業報告及び決算の承認について 第 2 号 理事及び監事の選任について (報告事項) 1) 川崎町ボランティアセンターの設置について 2) 新型コロナウイルス感染予防の取組について
2	令和 3 年 6 月 23 日(水) 13:30~14:20 場所:川崎町総合福祉センター	評議員 13 名/13 名 監事 2 名/2 名	(議案) 第 3 号 議席の決定及び議長選出方法の取扱いについて (報告事項) 1) 福岡県共同募金会川崎町支会会則の制定について 2) 新型コロナウイルス感染予防の取組について
3	令和 3 年 12 月 17 日(金) 13:30~14:05 場所:川崎町総合福祉センター	評議員 12 名/13 名 監事 2 名/2 名	(事業の報告) 第 2 号 令和 3 年度上半期執行状況の監査報告について (報告事項) 1) 令和 3 年度共同募金活動の進捗状況について

			て 2) 居宅介護事業の経営計画に基づくケアマネ1名の増員について 3) 「ボランティアセンター」の取組状況について 4) 社協理事・評議員及び職員の研修について
4	令和4年 3月23日(水) 13:30~15:00 場所: 川崎町総合福祉センター	評議員 13名/13名 監事 2名/2名	社会福祉法人指導監査の結果について (議案) 第4号 令和3年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の補正予算について 第5号 令和4年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の事業計画について 第6号 令和4年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の事業予算について (報告事項) 1) 令和4年度共同募金事業の取組について

(4)委員会

①総務委員会

総務委員会は開催されませんでした。

総務委員

令和3年6月16日から令和6年会計年度まで

役職	氏名
委員長	井上 馨
副委員長	松田 孝行
委員	西本 泰博
委員	宮田 等
委員	中島 利男

②福祉委員会

福祉委員会は開催されませんでした。

福祉委員

令和3年6月16日から令和6年会計年度まで

役職	氏名
委員長	松岡 久代
副委員長	田中 安博
委員	廣畑 美子
委員	梅田 浩一
委員	下山 正勝

③評議員選任・解任委員会

評議員選任・解任委員会を1回開催しました。

選任・解任委員

令和3年5月31日から令和6年会計年度まで

役職	氏名
委員長	久保 正敏
委員	宗吉 幸生
委員	山口 明
委員	萩尾 節子
委員	手嶋 さとみ

④全員委員会

全員委員会は開催されませんでした。

委員 理事全員

評議員選任・解任委員会開催日時

	開催日時	審議事項
第1回	令和3年6月3日(木)13:25~14:00	(議案) 第1号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会評議員の選任について

役員・職員研修

	研修内容	開催日時
第1回	でてこんかい・かたらん会 講師:公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部 かおり 氏	令和3年7月6日(火) 13時30分～15時30分 場所:川崎町総合福祉センター
第2回	消防訓練	令和3年7月27日(火) 9時20分～9時45分 場所:川崎町総合福祉センター
第3回	でてこんかい・かたらん会 講師:公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部 かおり 氏	令和3年10月5日(火) 13時30分～15時30分 場所:川崎町総合福祉センター
第4回	でてこんかい・かたらん会 講師:公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部 かおり 氏	令和3年12月13日(月) 13時30分～15時30分 場所:川崎町総合福祉センター
第5回	消防訓練	令和3年12月14日(火) 9時20分～9時45分 場所:川崎町総合福祉センター
第6回	福岡県添田町買い物支援事業視察 視察先:添田町役場	令和4年2月21日(月)
第7回	福岡県大野城市買い物支援事業視察 視察先:大野城市南コミュニティセンター	令和4年3月22日(火)
第8回	でてこんかい・かたらん会 講師:公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部 かおり 氏 中間市役所 生活支援コーディネーター 原 舞 氏	令和4年3月24日(木) 13時30分～15時30分 場所:川崎町総合福祉センター
第9回	佐賀県嬉野市「ごましお健康くらぶ」視察研修 視察先:嬉野市社会文化会館	令和4年3月29日(火)

(5)日常生活自立支援事業(権利擁護事業)

専門員1名、支援員4名で、利用者6名の日常生活の支援を行いました。また未契約4名については、令和4年度も引き続き面談や契約手続きを行います。その他、地域包括支援センター等と協力し、認知症高齢者等の相談援助業務を行いました。

(6)社会福祉を目的とする事業の企画及び実施

新型コロナウイルス感染拡大及び予防のため、ふくしまつりは中止、老人クラブ連合会、民生委員・児童委員協議会、母子寡婦福祉会、身障者福祉会、保護司会、遺族会、ボランティア団体等を対象とした研修会等は、中止及び規模を縮小しての開催となりました。また、川崎町との共催の金婚式は開

催しました。喜寿祝賀会は中止となり該当者の方には、民生委員さんにより記念品が届けられました。なお、災害時におけるボランティア活動の円滑かつ迅速な対応を推進するため、田川地区社協と連携して、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施しました。

(7)社会福祉活動に関する活動への住民参加のための援助

各種団体、組織等との連絡と強化に努め、住民一人ひとりが気軽に参加できる環境作りを援助しました。

(8)社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及宣伝、連絡調整及び助成

地域住民によるボランティア活動の理解と関心を高めるための川崎町ボランティアセンターを設立するとともに、その情報発信に努めました。また、年4回社協だよりを発行し福祉に関する情報提供を行いました。

(9)保健医療、教育の社会福祉と関連する事業との連絡

共同募金事業により、小学5年生に対して福祉教育冊子を配布し、福祉に関する教育の推進を図りました。

(10)共同募金事業への協力

令和3年度共同募金実施期間の10月1日から12月31日まで、赤い羽根共同募金活動を実施しました。この間、街頭募金や理事・職員が訪問しての法人募金、各行政区に協力をお願いしての戸別募金、老人クラブの一円玉募金など多くの方々の協力をいただきながら活動を実施しました。その結果、2,239,252円の募金が集まりました。募金実績の詳細は社協だよりNo.185(1月号)No.186号(4月号)に掲載しています。

(11)共同募金事業

赤い羽根共同募金事業の配分金により、地域福祉の推進に努めました。

福祉・ボランティア団体助成	14団体への活動助成
障がい児バスバイク	福岡市動植物園(11月14日)
福祉教育読本配布	「ともにいきる」町内の小学校、支援学校へ配布
米寿の祝い(記念品 手作りマスク・アルコール消毒液・ウェットティッシュ)	対象者138名、9月居宅、施設等に訪問して記念品の贈呈
喜寿の祝い(記念品 マスク・マスクケース・消毒液)	対象者224名、民生委員及び社協職員で個別配付
福祉教育読本配布	町内の保育園(所)への絵本の寄贈
文具贈呈事業	町内小学校新1年生への文具の寄贈

2、川崎町総合福祉センターの運営

社会福祉協議会、居宅・障がい・訪問介護の事業所、地域包括支援センターが連携し運営に努めました。新型コロナウイルス感染予防のため条件付きにて会議室貸館業務を行いました。

3、心配ごと相談業務

人権相談員、行政相談員、民生委員相談員の連携により、相談者のさまざまな相談の解決に努めました。令和2年度より隔週月2回の開催となりました。

()は令和2年度

事業内容	内容	開催日数	相談件数	1日平均相談数
心配ごと相談事業	各種相談	23日 (24日)	28件 (18件)	1.21件 (0.75件)

4、老人福祉センターの運営

新型コロナウイルス感染拡大の影響により5月12日～5月31日・8月20日～9月30日は休館、その後は条件付きでの開館となりました。カラオケは引き続き中止とし、談話室と健康福祉機器は使用可能となっております。(令和3年度利用状況は別紙参照)

また、子育て支援センターと連携し、児童を取り巻く問題の解決に取り組んでまいりました。

5、居宅介護支援事業

介護支援専門員は、居宅介護支援サービス業務を通じて、利用者が自立した日常生活を営むことが出来るように介護保険サービスの他、多くの社会資源を活用し、利用者が安心して生活できるよう取り組んでまいりました。なお、令和4年度からは介護支援専門員を1名増員して、特定事業所加算を獲得し黒字経営を目指しています。

6、訪問介護・介護予防・日常生活支援総合事業

要支援・要介護状態にある高齢者及び障がい者が自立した日常生活を営むことが出来るように身体介護及び生活援助、ご家族への助言や介護指導を行いました。また、特定事業所体制を維持し、事業の効率化を図りました。

7、障害者総合支援法に基づく、障がい福祉サービス

利用者の意思及び人格を尊重し、障がいの特性を理解し、本人の立場に立った適切な介護に努めました。

8、生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯、身体障害者世帯等の自立、生活安定を図るため、生活福祉資金貸付の相談・申請を受け付けました。

令和3年度も前年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大により特例貸付の申込が多く対応に追われました。令和4年8月末まで継続となっております(令和4年5月11日時点)。

資金の種類	相談件数	貸付件数	貸付金額
更生資金(生業費)	0件	0件	0円
教育支援資金	12件	11件	3,949,000円
総合支援資金	0件	0件	0円
緊急小口資金	6件	3件	120,000円
福祉資金	6件	4件	238,000円
特例貸付	458件	189件	50,660,000円

その他	0 件	0 件	0 円
合計	482 件	207 件	54,967,000 円

9、相談支援事業の経営

障がい者や障がい児の保護者、介護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、障がい福祉サービス利用支援等必要な支援を行いました。また、虐待の防止及びその発見のための関係機関との連携や調整、障がい者等の権利擁護のために必要な助言を行いました。

なお、経営面では令和元年度に黒字に転じた以降、安定した経営状況となっています。

10、介護予防支援業務

この事業は、川崎町より平成31年4月から受託した地域包括支援センター業務の必須事業で、川崎社協(事業所)として運営しています。介護保険における予防給付の対象となる要支援者等の状況にあった適切なサービスが、包括的かつ効率的に提供されるよう援助を行いました。(令和3年度請求件数:5,557件)

11、川崎町包括支援センター業務

この地域包括支援センター業務は川崎町からの受託事業で、地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活安定のための必要な援助を行うことを目的としています。

地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、適切なサービスや関係機関及び制度の利用につなげる等の支援を行ってきました。

また、生活支援体制整備事業では、引き続き「でてこんかい・かたらん会」を実施し、会の中で住民同士が地域の助け合い・支え合い推進について話し合いを重ねてきました。また、地域の課題として「買い物支援」について意見も出されており、今後、地域包括ケアシステムの構築を推進していくためには、この買い物支援について対策が重要であることから、町内6か所の公民館事業で「買い物アンケート」調査及び先進地における買い物支援事業の視察等を実施し、地域の課題解決に向けた取り組みを進めました。

12、その他この法人の目的達成のために必要な事業

「生活困窮」「社会的孤立や孤独」「心身の障がいや不安」など、既存の制度では対応できない制度の狭間にいる方等への支援が今日的な課題となっている中、平成29年度より開始された福岡県社会福祉法人経営者協議会等が実施主体である「ふくおかライフレスキュー事業」に参加し、現物給付という緊急時のツールを備えた生活困窮者等に対する相談・支援事業として取り組みました。

相対的貧困が問題となっている中、町内で子ども食堂「かわさきこども食堂コマツ屋」が月に1度開催されています。子ども食堂の運営を支援するため、食材や弁当容器の寄付を行いました。

今後も継続的に事業に携わり、貧困問題に取り組んでまいります。